

平成29年7月14日(金)



勝山インター線について

～全線開通しました～

奥越土木事務所 道路課 勝山整備G
笹嶋 賢吾

開通式

平成28年11月6日(日) 比島会場



テープカット



三世代夫婦渡り初め

開通記念イベント

平成28年11月6日(日) 発坂会場

約600人の
市民らが参加し
盛大に祝われた



振る舞い



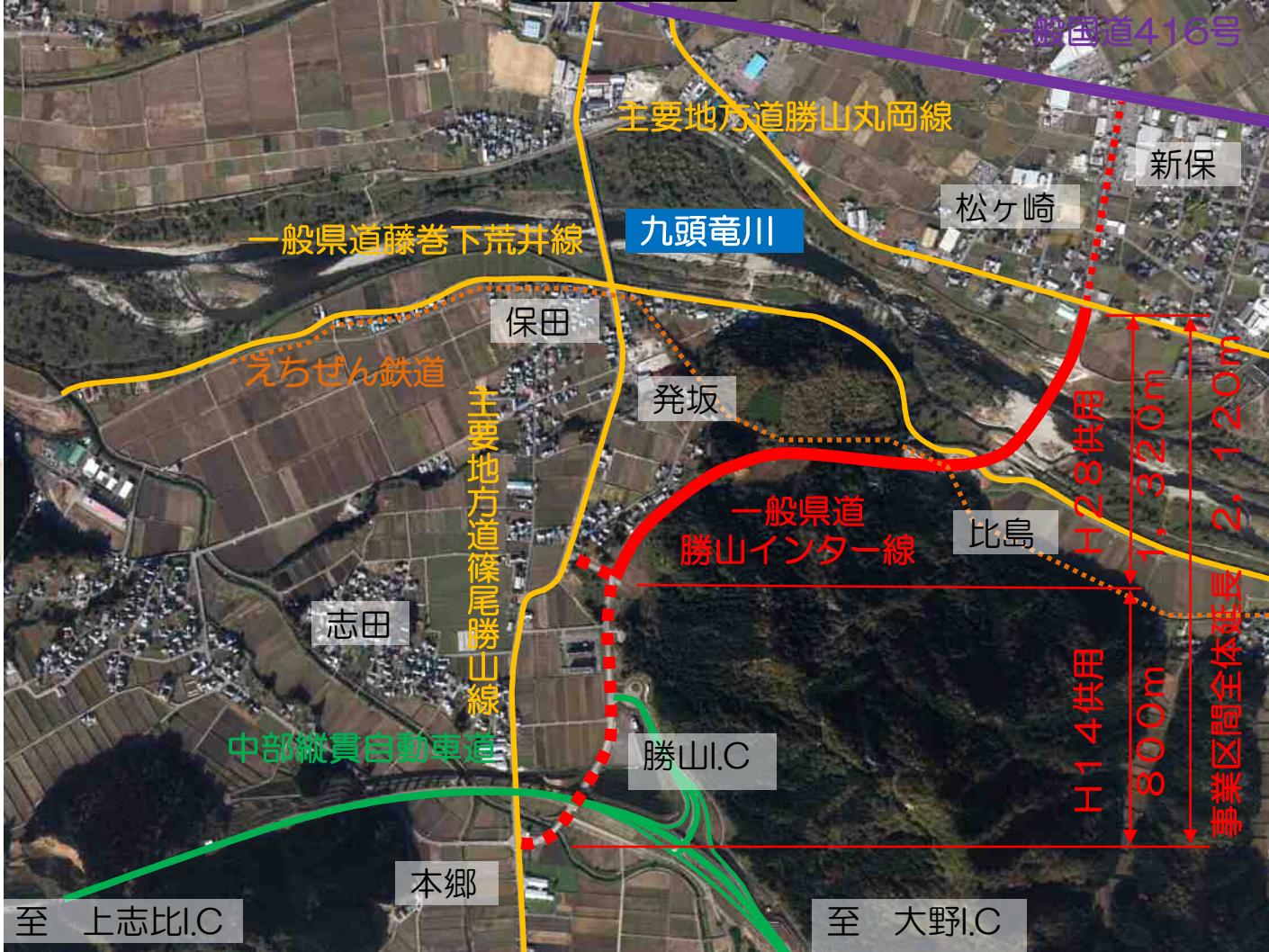
ウォーキング

位置図

広域図



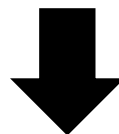
詳細図



地図・空中写真閲覧サービス(国土地理院)のデータを加工して作成

事業効果

従来利用されていた集落内を通過する(主)篠尾勝山線は幅員も狭く、えちぜん鉄道踏切付近では渋滞や交通事故が発生していた。

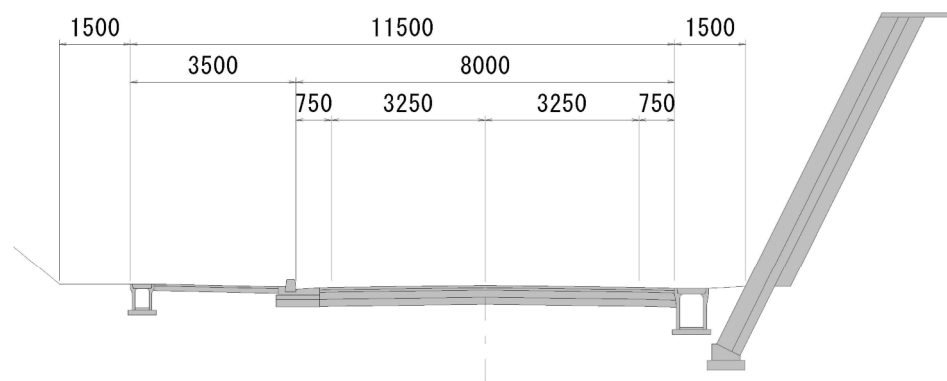


新しい道路の整備により、十分な幅員が確保され車両の円滑な通行が可能となるため、渋滞や交通事故が緩和されるとともに、沿線住民の安全で安心な生活道路の保全が図られる。



事業概要

- ◆事業区間 : 勝山市鹿谷町本郷～荒土町松ヶ崎
- ◆全体延長 : 2,120m
- ◆総事業費 : 約55億円
- ◆計画交通量 : 7,400台/日
- ◆道路規格 : 第3種第2級
- ◆設計速度 : 60km/h
- ◆道路幅員 : 車道6.5m(全幅11.5m)
- ◆最小曲線半径 : 200m
- ◆最急縦断勾配 : 5%



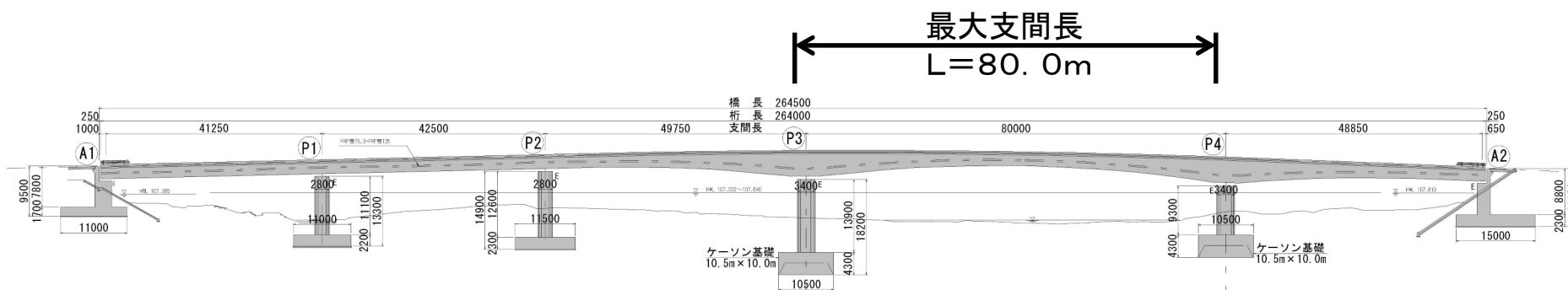
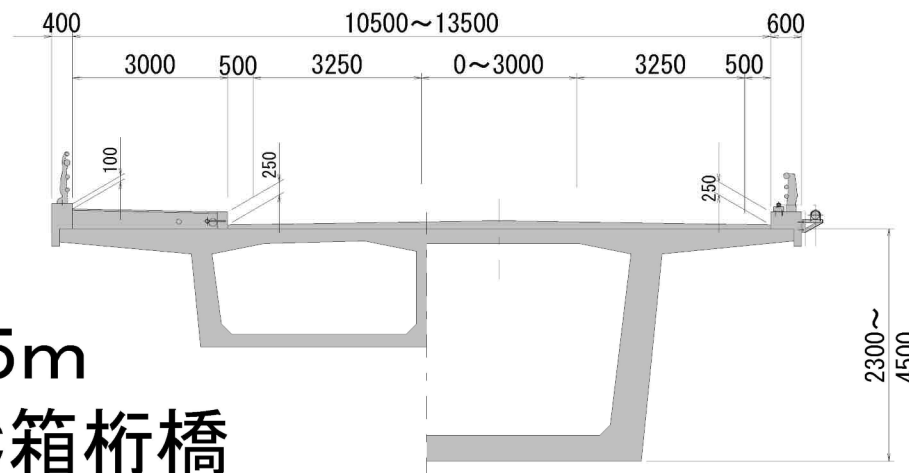
事業経緯

平成 4年度	調査着手
平成 7年度	事業採択
平成14年度	一部供用開始(勝山I. Cまで)
平成17年度	えちぜん鉄道高架工事着手
平成20年度	中部縦貫自動車道勝山I. C供用開始
平成22年度	景観検討委員会、環境保全委員会設置
平成24年度	橋梁下部工着手
平成26年度	橋梁上部工着手
	事業認定
平成28年度	全線供用開始

事業採択から21年
もの歳月をかけ、
ようやく全線開通
に至った

橋 梁

- ◆ 橋梁名 : 勝山恐竜橋
- ◆ 橋 長 : 264.5m
- ◆ 幅 員 : 10.5~13.5m
- ◆ 上部工 : 5径間連続PC箱桁橋
- ◆ 下部工 : (A1, A2) 逆T式 直接基礎
 (P1, P2) 壁式 直接基礎
 (P3, P4) 壁式 ニューマチック基礎
- ◆ 整備費 : 約16億円
- ◆ 特 徴 : 箱桁断面が1室から2室に変化



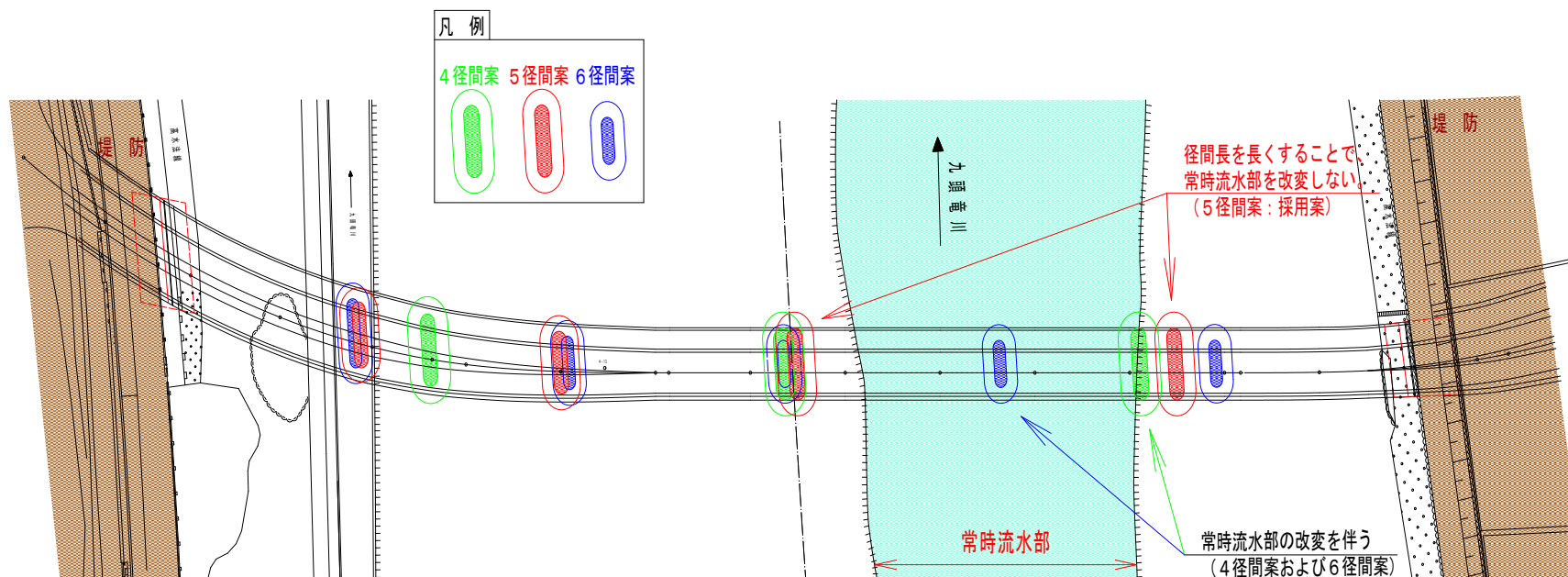
橋 梁

環境配慮

●架設位置は国指定天然記念物「アラレガコ生息地」の指定区域であったため、文化庁と協議を行い、常時流水部に影響の少ない径間割の設定や水質汚濁防止などの配慮が必要であった。



標準和名 カマキリ 学名 *Cottus kazika*



橋 梁

濁水対策(工事による濁水を一時的に貯留してから放流する)



沈殿池の設置



沈殿池の設置(放流部)



放流部へのフィルター材設置



放流部最下流のフィルター材(現地採取材)

橋梁

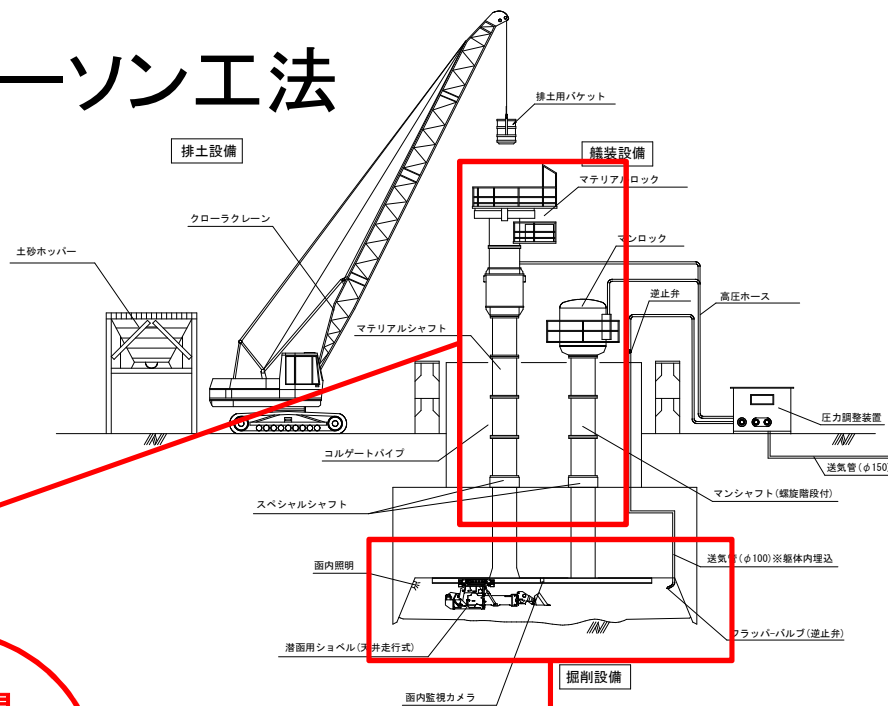
ニューマチックケーソン工法

マンロック
(作業員の出入)

マテリアルロック
(土砂の搬出)



艀装設備



内部空間
高さ2.3m
幅10.1m
×9.6m

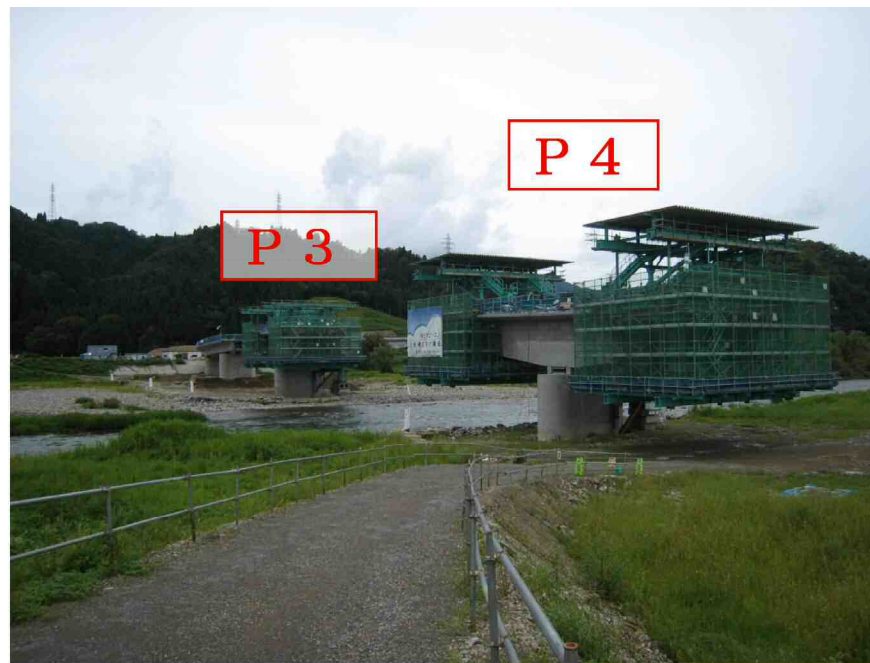
圧縮空気を送り込んで地下水の
侵入を防ぎ、ドライな状態で掘削が可能



掘削設備

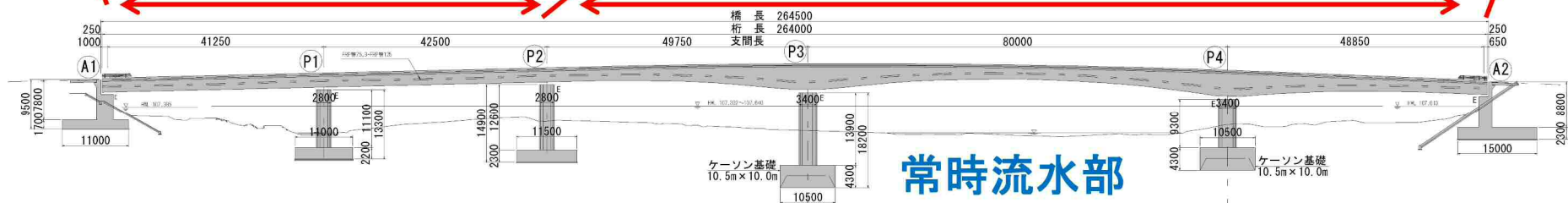
橋 梁

上部工架設



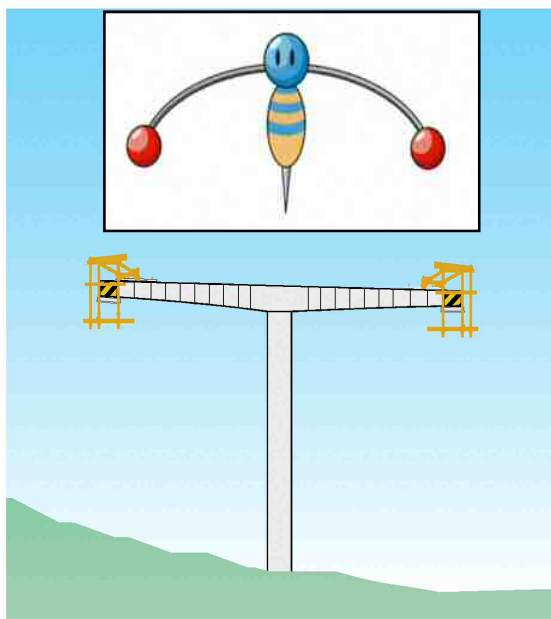
固定支保工架設工法

片持架設工法

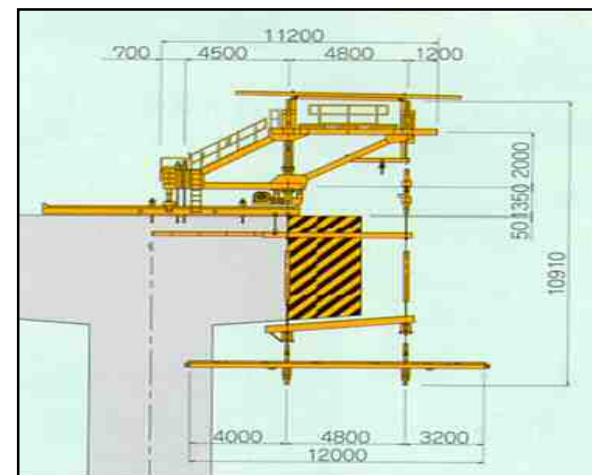


橋 梁

片持架設工法



左右にバランスをとりながら、架設作業車を用いて、1ブロック約4mを10日前後のサイクルで張り出していく



架設作業車(ワーゲン)



橋 梁

片持架設工法

仮固定工

施工時のアンバランスモーメントに耐えられるように、ゴム支承の前後にコンクリートの仮支承を設け、主桁と橋脚をPC鋼棒で緊張することによって、剛結構造(ラーメン構造)として固定させ、安定した施工を行った。



PC鋼棒設置



仮支承コンクリート脱型



PC鋼棒緊張

橋 梁

親柱



地元小中学生が執筆

橋 梁

現場見学会

地元小学生が
箱桁内に
メッセージを

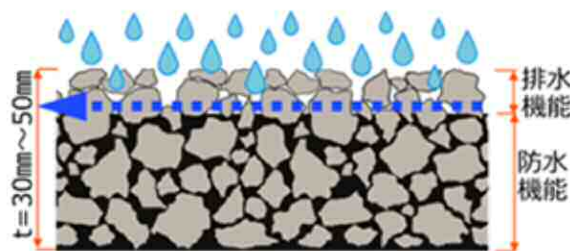


上部工工事では計13回開催

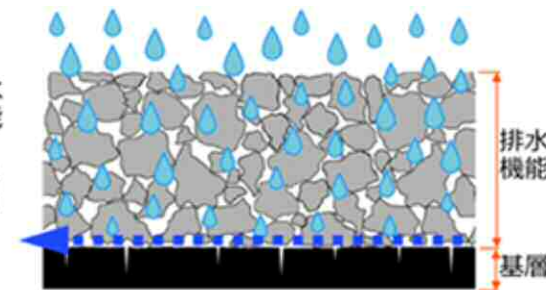
舗装

凍結抑制舗装の施工

- 凍結抑制効果の持続性が高い
- 改質アスファルトの使用により、耐久性がある
- 空隙が多いため、騒音が低減される 等



凍結抑制舗装



従来排水性舗装



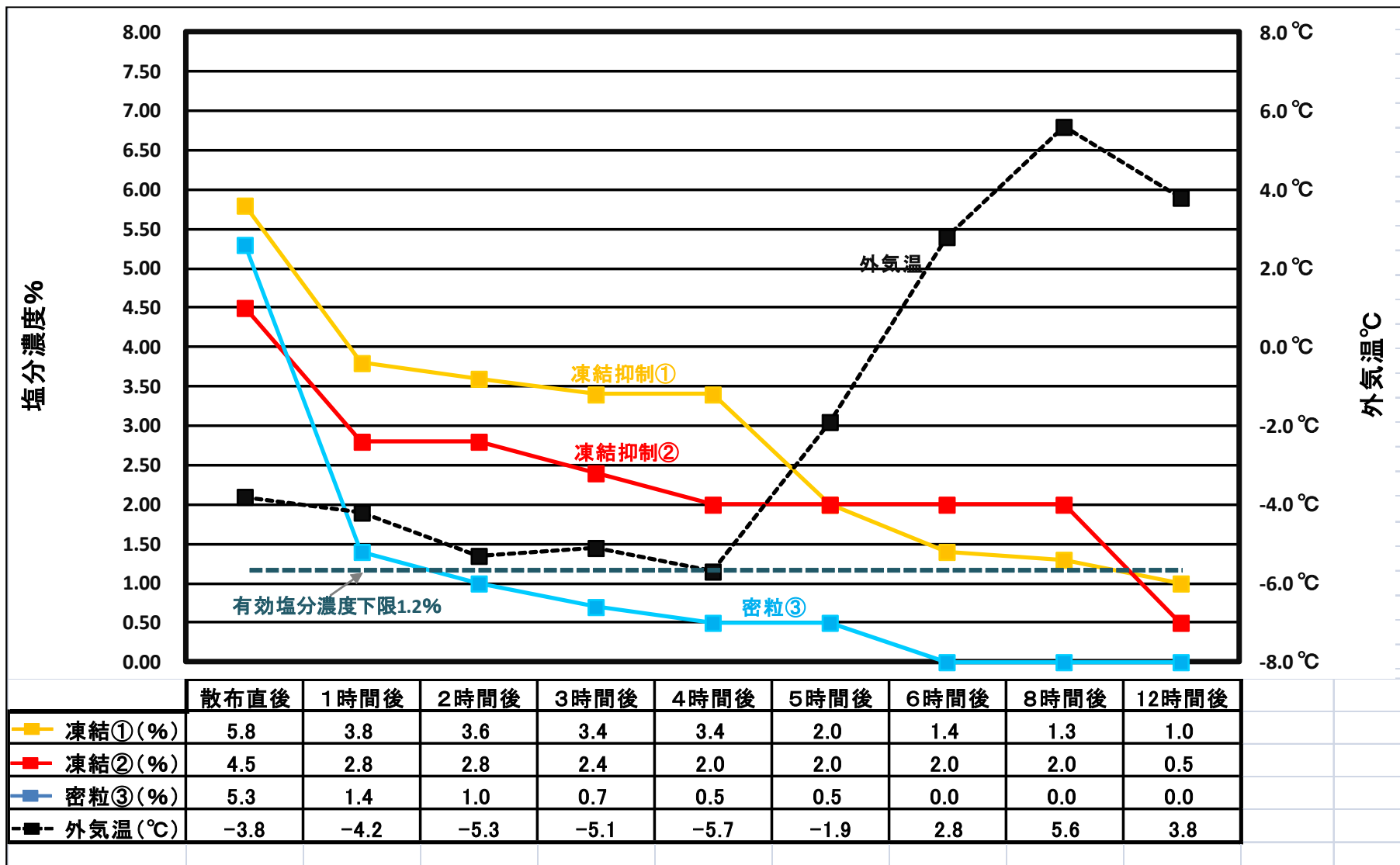
施工状況



完成

舗装

塩分濃度測定結果



その他の取り組み

- 景観上および災害時の道路機能確保のため、無電中化を図った。



電力・通信事業者埋設管

その他の取り組み

- 維持管理費の低減を目的とし、路肩法面の防草対策を行った。



切土法面



盛土法面

工事経過

平成28年4月



起点側



中間部



橋梁部



終点側

工事経過

平成28年6月



起点側



中間部



橋梁部



終点側

工事経過

平成28年7月



起点側



中間部



橋梁部



終点側

工事経過

平成28年8月



起点側



中間部



橋梁部



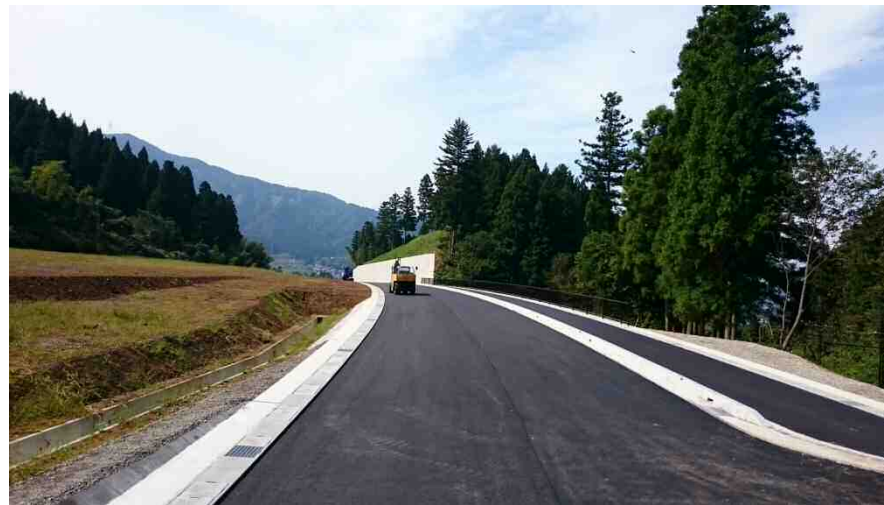
終点側

工事経過

平成28年10月



起点側



中間部



橋梁部



終点側

工事経過

平成28年11月(完成)



起点側



中間部



橋梁部



終点側

ご清聴ありがとうございました。

